

元プロ野球選手

# 石毛宏典氏講演

2010年10月16日に、10月例会テーマ『私の挑戦と踏み出し、駆け抜け、やり遂げる』のもとに元プロ野球選手で、(株)Be You Corporationの代表取締役の石毛宏典さんに芸予文化情報センターでご講演をしていただきました。当日は市民の皆さまにもご参加いただいた公開例会として開催し、150人あまりのかたにお越しいただきました。これまで取り組んでこられた独立リーグ立ち上げなど、ご自身の経験を基に講演していただきました。

プロ野球を目指す若者の育成、プロ野球選手を引退したOBの受け皿、また地域の活性化のために地域に密着した独立リーグが絶対に必要だと強く思い、日本発の独立リーグ(四国アイランドリーグ)を立ち上げたこと。人が育つには合理的な手段・方法を考えることも必要だが、もつとも必



要なのは厳しい環境の中に身をおかれることだ。そして、リーダーの育成も必要だが部下の育成が組織を大きくする中で重要であること。興行収入だけではチーム運営が厳しく、選手による農業活動による収入を加えて今後の運営を目指すプランがあり、それがさらに地域の活性化につながるという思いを持っておられることなど、多くのことを熱くご講演いただきました。

今後の生活の中で参加していただいた市民の方や私たち因島JICが新たな挑戦に踏み出すとき、この講演で学んだ事が役立ち、駆け抜け、やり遂げることが出来ることを望みます。

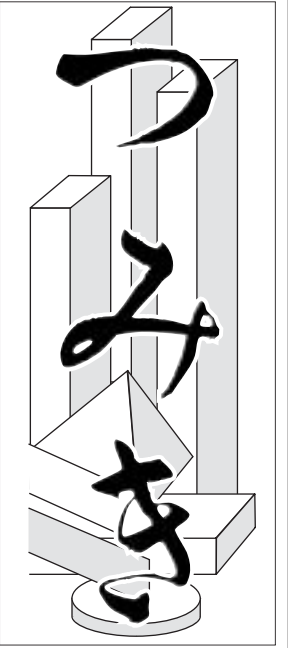


その他講演の中で身振りの手振りの体を使った野球指導もして頂き、野球をする上で大切な三つのこと、怪我や故障のない身のこなし、正確さを高める身のこなし、守れる身を守る身のこなしを教えて頂きました。



▲担当委員長の巻巻君と

JCI 375



題字 初代理事長 弓場敏男

## 第5回 わんぱく相撲因島場所開催

2010年5月9日に、『第5回わんぱく相撲因島場所』を熊笹原八幡神社相撲場で開催しました。

4・5・6年生の優勝者は全国大会に出場し、国技館の大舞台で地域の代表にふさわしい堂々とした試合を繰り広げてくれました。

今回は、わんぱく力士&保護者の方に感想を聞きました。

**わんぱく力士(6年生優勝者 中川陸君)**  
わんぱく相撲に参加するようになったきっかけを教えてください。

↓はじめに、お姉ちゃんや妹が出ていて、帰ってきて、とったビデオを見るととても楽しく相撲因島場所に参加しました。わんぱく相撲因島場所に出場して、よかった事を教えてください。

↓全国大会に向けての練習で終わった後、筋肉痛になったけど、たくさん練習してきたえらまれたのでよかったです。

わんぱく相撲で、悔しかったこと・つらかったことはありますか？

↓五年生のときに決勝で絶対に勝てると思っていたけど負けたのがやしかったんです。

わんぱく相撲因島場所優勝した時の感想を教えてください。

↓決勝の人は、五年生での決勝で負けた人だったので、勝ったときにはとてもうれしかったです。

わんぱく相撲全国大会の感想を教えてください。

↓一回戦で下関のチームには負けてしまったけど、自分の全力を出して、負けたので、しょうがないなと思いましたが、また、こんな経験ができるのは今だけだったので、これでよかったです。

相撲部屋に泊まった時の感想を教えてください。

↓ほかの強そうなチームの人たちがたくさん来ていたので、とてもきんちようしかったです。

将来の夢(どんな大人になりたいか、どんな仕事に就きたいか)を教えてください。

↓ぼくは今野球を習っています。もう六年生の出番はないけど試合をやっている時は、勝つのも負けてもとても楽しくなります。また、ホームランやヒットも打つのもっと楽しくなるからです。また、守備ではとりにくいボールを捕った時のうれしさが大きいから、ぼくは将来野球選手になりたいです。

保護者(中川淳さん)

全国大会を観て感じた事は、さすがに全国大会は小学生離れした子どもたちばかりで、体格は勿論、堂々とした態度・礼儀正しい姿勢など驚かされる事ばかりでした。

一方我が子の対戦では、残念ながら一回戦突破とはなりませんでした。この国技館の土俵に上がった事は、これから本人にとって特別なものになるでしょう。また前日には、武蔵川部屋へ宿泊し、子ども達も交流して時間を過ごしたようです。大変貴重な体験をさせて頂きました。

本人が、今回のわんぱく相撲へ参加した一番の理由は、昨年の大会で負けました。ただ、ただ負けが悔しかった様です。今回は本当に運良く優勝する事ができました。本人は負けなかつた事を喜んでいました。しかし、全国大会では、立ち合いと同時に一瞬にして勝敗が決まり、土俵の上に転がされてしまいました。子ども心に、かっこ悪いと感じた事でしょう。何か感じとしてくれたらと思うので、きつと糧になると信じています。

### 各学年優勝者



6年 中川 陸くん 5年 村上光起くん 4年 田頭高也くん 3年 岡本偉吹くん 2年 小林優輔くん 1年 村上真一くん



▲因島場所での昼食(ちゃんこ)の様



▲因島場所での熱戦の様

## 例会紹介

2010年6月18日(金)に、日立因島労働会館にて上村俊之上島町長をお招きし、6月例会テーマ『リーダーシップ・デベロップメント』やるか、するか、やりたいか』が開催されました。

6月例会はOB合同例会という事で総勢43名の参加で、指導力育成の向上を図るために、上村町長にご講演を頂きました。

上村町長からは、上島町の町長としての経験を元にした、リーダーとしての条件やまちづくりについてご講演頂き、例会終了後は懇親会にてまちづくりなどの質問が交わされ、上村町長と交流を深める事ができました。



### 2010年度 事業報告

※例会行事(『テーマ』サブテーマ) 担当委員会名

- 1月例会 『はじめの一步』 担当 総務委員会
- 2月例会 『庭菜』field develop 担当 意識向上委員会
- 3月例会 『ブロック野球大会全体ミーティング』 担当 三役会
- 4月例会 『ちからの向上』因島のために一歩前へ』 担当 島のちから向上委員会
- 5月例会 『第5回わんぱく相撲因島場所』 担当 島のちから向上委員会
- 6月例会 『リーダーシップ・デベロップメント』やるか、するか、やりたいか』 担当 意識向上委員会
- 7月例会 『絆』家族向上計画』 担当 総務委員会
- 8月例会 『次代を見据える』(社)因島青年会議所が進むべき道』 担当 三役会
- 9月例会 『第40回因島ブロック大会』 担当 三役会
- 10月例会 『私の挑戦』踏み出し、駆け抜け、やり遂げる』 担当 意識向上委員会
- 11月例会 『THE POWER OF ISLANDS』活力、魅力、団結力』 担当 島のちから向上委員会
- 12月例会 『Challenge』挑戦とやりがい』 担当 総務委員会

青年会議所とは 自らが率先してまちづくり、人づくりを行う20~40歳の青年の団体であります。